

少子高齢化対策は



久留松男議員

年々少子化が進行している。最近では結婚をしない独身者が多く、又晩婚型結婚など出産年齢も高くなっている。
どのような対策を考えているか。

総合的に取り組む

町長

少子化問題は、必然的に、高齢化の問題でもあり、平成九年度出生者数は百二十七人で、平成十三年度は百八人の出生予定で約十五%減であり、町としても重く受け止め

少子化対策を講じている。安心して産み育てられる環境の整備に努め、妊産婦、乳幼児の訪問事業を始め、母子保健相談、栄養管理、健診や相談事業を実施、少子化の問題は総合的に取り組み、粘り強く着実に進める。

どうする

高齢者対策

久留議員

高齢者の方々は豊富な知識や経験を持った人生の達人であり、豊かな心と健康で安心して暮らすことを望んでいる。
どのような対策を考えているか。

活力ある社会を

町長

高齢化対策として、近年急速に高齢化が進行し、高齢者が増加している現状を踏まえ、高齢者が住み慣れた家庭や地域で安全・安心して生きがいを持って暮らせる福祉社会の実現を目指す。また、活力ある高齢社会を構築するため、高齢者の知識や経験を地域社会に生かし高齢者が生涯現役で活躍するための健康づくりを考えている。

公営住宅建設を今後どのように推進するのか

久留議員

住宅問題と人口問題は切り離せない親密な関係があると思うが、PFI方式で行う考えはないか。

検討する

町長

公営住宅建設の推進で人口増を図ることもひとつの策であり、過疎地域自立促進計画のなかで公営住宅建設も考えている。PFI方式については、先進地の研修を重ね検討する。町有地は住宅政策を考え積極的に活用していく。

PFI方式とは（プライベート・ファイナンス・インシアティブ）
公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。



（社）大崎町シルバー人材センター就業風景